

伝統と革新。
変わらない「本質」が
あるからこそ、
その先に、
新しい「価値」が生まれる。

お皿・ボール・お碗・湯呑みを、重ねると一輪の「薔薇」になる。
これは、「薔薇の器」と名付けられた、
香川漆器五技法のひとつ「後藤塗」で作られた漆器ですが、
香川漆器をご存じの方は「これが後藤塗?」と思われたことでしょう。
そう、後藤塗の特徴である斑紋のような模様がありません。
この漆器屋さんは、後藤塗の模様は付けず、
それ以外の工程は残して、堅牢さと使い勝手の良さという
「本質」を保ちながら、モダンな薔薇の漆器を作りました。
伝統と革新と……以前から耳にする言葉ですが、証券会社においても
「みなさまの生活を、より豊かでより実りある未来へとお手伝いをする」という本質は、
時を経ても変わることはありません。そこに、新しい価値を創造する運用であったり、
資産形成の革新的な手法が加わることで、
より豊かでより実りある未来へと進むことができます。
2020年 —— 日本も「令和」の新しい時代が幕を開け、
変化するグローバル経済の中にあっても、「本質」を見失うことなく、
より豊かでより実りある未来へと「革新」を続けて参りたいと思います。



後藤塗は江戸末期、高松藩士の後藤太平が発案。「塗りの堅牢さ」と「優雅さ」が愛され、大正時代
初め頃には一般に普及し、座卓や盆、皿など日用品にも塗られるようになりました。「後藤塗」の特徴は、
指でつけられた細かな「文様」にあります。この薔薇シリーズは、文様をつける「工程15」をしていますが、
後藤塗独特の、ぼってりとした丸みや堅牢さは生かし、モダンにデザインしました。

「薔薇の器」プロダクトデザイナー：栄 秀樹 製作：一和堂工芸[高松市屋島東町]

工程 1	白木地磨き
工程 2	白木摺り込み
工程 3	磨き
工程 4	摺り込み
工程 5	糊塗り(くそ)
工程 6	糊塗り(くそ)
工程 7	糊塗り(くそ)
工程 8	糊塗り(くそ)
工程 9	摺り込み
工程 10	磨き
工程 11	摺り込み
工程 12	磨き
工程 13	中塗り
工程 14	中塗り
工程 15	文様
工程 16	仕上げ磨き
工程 17	乾拭き
工程 18	乾拭き
工程 19	乾拭き
工程 20	乾拭き
工程 21	乾拭き
工程 22	乾拭き
工程 23	仕上げ磨き

後藤塗の工程